

ilovex college

200.04.06 担当：小幡

やさしい財務分析について - 新人SE向け -

No.2

それでは適正在庫とは、どんなことでしょうか。

B社

	売上	原価	粗利	粗利率	在庫	回転数	投資効果
あ商品	100	90	10	10.0%	13	7	77
い商品	100	80	20	20.0%	27	3	74
う商品	100	70	30	30.0%	40	2	75
合計	300	240	60	20.0%	80	3	75

B社では、在庫回転数3回、粗利率20%を目標としています。商品の中には、未達成のものがありますが、入れ替えるべきでしょうか？

実は、それぞれの商品は同じ在庫投資効果ですから、同じ貢献度になります。

商品では、投資効果額を一定にすることが適正在庫と云えます。

会社は通常1,000以上の商品を扱っていますから、回転率と粗利率を指標に一律に判断することは、非常に危険で誤った意思決定をします。

情報システムでは、在庫の過不足を管理し機会損失を招かないことが必要とされるのです。

言い換えれば、過不足を管理する必要のない商品はシステムで取り扱わなくても良いわけです。

次に時系列で比較します。

C社の決算状況

・資金繰り分析	10期	11期	12期
流動比率%	146	139	136
酸性比率%	95	88	81
酸々性比率%	92	85	79
・損益分析			
売上	1,000,000	1,200,000	1,300,000
原価	700,000	864,000	960,000
粗利	300,000	336,000	340,000
粗利率%	30	28	26
在庫額	330,000	420,000	510,000
回転数	2.12	2.06	1.88

売上げが伸びているから、このままで良いのでしょうか？

売上げが拡大し、それにともない原価、在庫が増えています。しかしながら、それら以外の指標は軒並み悪化しています。

このことから次のような社内事情が推測されます。

- ・資金回収が滞っている＝営業が回収を怠っている。回収条件が悪くなった。
- ・在庫の増え方が多い＝過剰在庫になっている。

経営者としては、資金回収や在庫管理を適正に導くための手を早急に打つ必要があります。

経営者はこのような視点で意思決定し、会社を経営しています。企業の情報システムは、経営者を支援するためにあります。そこでは、こうした視点でシステム構築をできる能力が、常に求められるのです。

SEとしてお客様の視点で判断ができるように、財務会計及び財務分析の知識を身にぜひ身に付け、より良いシステム作りを目指しましょう。

■用語

流動比率

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

酸性比率

$$\text{酸性比率} = \frac{(\text{流動資産} - \text{在庫金額})}{\text{流動負債}} \times 100$$

$$\text{酸々性比率} = \frac{(\text{流動資産} - \text{在庫金額} - \text{定期・定積預金})}{\text{流動負債}} \times 100$$

編集後記

今回は初めての発行です。当社へのご理解とご発注との一助となればと考えて発行をすることにしました。紙面構成は、当社の教育研修となる「ILOVEX College」の＜内容＞と＜その講師＞の紹介が中心となります。「編集後記」で当社のトピックスを紹介いたします。記事についてのお問い合わせをお待ちしております。

編集担当 野崎 一

Vol.01 NO.1

2005年4月18日発行

アイロベックスニュースレター
発行責任者：杉山 淳子

Ilovex Newsletter は毎月3・18日に発行いたします。詳細は当社営業または担当までお問合せください。